



よこすか市議会だより

No.23

平成29年(2017年)
2月10日号

YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)9394 [市議会事務局議事課]

横須賀市議会

検索

pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

発行 横須賀市議会
編集 横須賀市議会だより
編集委員会



日本スケートボード協会の協力により整備されたうみかぜ公園のスケートボードパーク。初心者から上級者まで無料で楽しめます。本定例会にて、全天候型の舗装と、新たなジャンプ台等を設置する補正予算が可決されました(平成29年12月完成予定)。

7年ぶりに補正 予算を修正可決

平成28年第4回定例会は、11月29日から12月14日までの16日間で開催しました。
11月29日、30日の本会議における一般質問は、第4回定例会ではこれまでにない人数である15人の議員が登壇し、市長等に対して活発な議論が繰り広げられました。その後平成28年度一般会計補正予算をはじめ、議案13件、報告2件、陳情9件が委員会に付託され、審査を行いました。

補正予算に関しては(仮称)中央こども園園舎の設計委託料及び工事監理委託料を削除する修正案が議員から提出され、12月14日の最終日、記名投票の結果、賛成21票、反対18票となり、平成21年第4回定例会以来7年ぶりに補正予算を一部修正の上、可決しました。

その後、職員の介護休暇に関する条例改正議案等3件が追加提出され、本会議を一旦休憩して委員会審査し、本会議を再開して採決の結果可決しました。また教育委員会委員・公平委員会委員の選任、人権擁護委員候補者の推薦についても可決、異議なしとしました。

10月から11月にかけて各常任委員会では他都市調査を行い、各自治体の先駆的な施策や取り組み等を視察しました。

第8回議会報告会を開催します

市議会では、市政の充実と発展、市民福祉の向上に向けて、市民の皆さまの声を市政に反映させるため、さまざまな議会活動を行っています。その活動の一つとして、毎年1回、市内各所で議会報告会を開催しており、市議会での活動を報告し、ご質問や市政へのご意見を伺っています。

これまでの議会報告会では、新年度予算案での審査における議会からの指摘事項や質問内容、特別委員会でもとめられた中間報告・最終報告の概要などを中心に報告を行ってまいりました。そして、意見交換の場でもいただいたさまざまなご質問やご要望につきましては、市議会ホームページで公開しておりますので、こちらも是非ご覧ください。

また、3月には新たなチャレンジとして、横須賀総合高校において、生徒を対象とした議会報告会を開催します。そこでの経験をもとに、市民の皆さまのご意見が政策提

案につながるような仕組みづくりを検討してまいります。

なお、次回の議会報告会は、4月21日(金)午後7時から池上、鴨居の各コミュニティセンターで、4月22日(土)午後2時からヴェルクよこすか、武山コミュニティセンターで開催します。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。



昨年行われた議会報告会の様子(大津コミュニティセンター)

第4回定例会 一般質問

小幡沙央里 議員 無所属みらい

性暴力被害者支援/子どもの貧困対策

問 性暴力被害者支援者研修を導入して支援者の養成をしてはいかがでしょうか。

答 県が研修を実施している。これまで市職員の派遣は行っていないが、今後は市職員を派遣していく。

問 子どもの貧困対策には教育と福祉の連携が必要であり、スクールソーシャルワーカーの役割は大きい。今年度増員したことの効果と今後の拡充についていかがお考えか。

答 今年度から6名に増員。個々のケースに対応する時間がふえ、学校

時代に合った福祉サービスへと転換を

鈴木真智子 議員 公明党

問 「ふれあいお弁当事業」について、配食の担い手の高齢化に対応するため、見守り事業をそれぞれの地区社会福祉協議会に委託してはどうか。

答 議論の必要性はあるが、地域の実情に合わせいく必要性は認識している。

問 「緊急通報システム」について、実際に緊急対応が必要な通報のみに早急な対応が可能なシステムへ、また安否確認から緊急通報、生活支援まで対応できる「あんしん見守りサービス」への転換を検討すべき。



ふれあいお弁当



水銀体温計回収します

説明の有無、

席があり、その対応のあり方、施設配置適正化計画に伴う移転の可能性に関する

また、安心できる年金制度の実現を求める陳情の審査では、国民年金保険料の未納実態などについて質問がありました。委員の意見が一致せず審査を終了しました。

常任委員会における議案の審査では、救急医療センターの指定管

同園リピーター獲得に



集客増に向け改修が予定されているくりはま花の国

重要性などについて質疑が交わされました。

(委員長 永井真人)

平成28年度補正予算審査では、臨時福祉給付金の支給事業について、対象者への周知方法、支給事務委託者と随意契約することの是非、市内在住者を雇用するよう条件を付すことに対する考え方や支給率向上の取り組みなど、水銀使用廃製品処分委託について、委託の具体的な内容や回収の際にどのように安全性を確保するか、効果的な市民周知の方法などの質疑がありました。市民活動サポートセンター指定管理者の指定については、選考委員会において委員の欠

同移転を踏まえた事業提案に基づく選考の必要性、公平性が保証された選考スケジュールのあり方などについて、活発な質疑、意見がありました。その他、南消防署久里浜出張所新築工事請負契約議案の審査では、落札率100%であった入札結果に対する所見、職員の勤務環境に配慮したトイレ設置の必要性などについて質疑があり、採決の結果、三浦市との消防広域化に伴い横須賀市三浦消防署を設置するための条例改正議案とともに可決されました。

分科会における審査では、一般会計補正予算における「(仮称)中央こども園整備事業」に関して質疑が集中し、同園開設延期に伴う公立保育園再編実施計画見直し

選定審査における評価基準の設定根拠、審査委員に公募市民を含める検討の必要性、申請団体からの新たな事業計画提案の有無について質疑がありました。また、市立高等学校及び市立幼稚園の教育職員並びに市立中学校の任期付教育職員

平成28年度横須賀市一般会計補正予算の審査では、地方創生拠点整備交付金を活用するくりはま花の国周辺設備改修事業において

向けた方策の有無などについて質疑が交わされました。また、同じく地方創生拠点整備交付金を活用する港湾維持改修事業として、スポーツ拠点施設としての魅力を高め、集客促進・市内消費の拡大を目的とするうみかぜ公園内に設置されているスケートボードパーク

(委員長 杉田 惺)

生活環境常任委員会(分科会)

臨時福祉給付金の確実で速やかな支給を

今定例会では、平成28年度一般会計補正予算(第3号)を中心に審査を行い、分科会において活発な質疑が交わされました。

次いで、平成28年度一般会計補正予算(第3号)に対し、(仮称)中央こども園整備事業にかかる園舎の設計者選定委員会開催に必要な経費7万8千円の減額、園舎設計委託

料及び園舎工事監理委託料に対する債務負担行為の設定を削除する修正の動議が提出され、中央こども園の整備のあり方について、再度検討を行い、再提出を求める提案がされました。

分科会における一般会計補正予算の審査では、スケートボード施設改修を地方創生拠点整備交付金の対象事業とした理由とそのプロセスについて、市税条例の改正に関しては、地域決定型地方税制特例措置(通称「わがまち特例」)の具

追加工議案として職員の育児休業等に関する条例と、勤務時間、休暇等に関する条例の改正が提出さ

また、一般報告として、長井海の手公園ソレイユの丘から海岸へ繋がる散策路用地の整備、浦賀警察署移転に係る跡地利用に関する課題、市制施行110周年記念式典の開催について等が報告されました。

(委員長 田辺昭人)

予算決算常任委員会

(仮称)中央こども園整備事業の予算を減額修正

合的な機能集約の議論を踏まえた設計構想を行う必要性について、市民活動サポートセンターの指定管理者の指定においては、同管理者選定において公開プレゼンテーションと選考を同日に行う合理的な理由については、

平成28年度一般会計補正予算(第3号)は賛成多数で一部修正のうえ可決すべきものと決定し、その他の議案3件は全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

分科会における一般会計補正予算の審査では、スケートボード施設改修を地方創生拠点整備交付金の対象事業とした理由とそのプロセスについて、市税条例の改正に関しては、地域決定型地方税制特例措置(通称「わがまち特例」)の具

学校体育を除く部分を市長部局に移管することに関して、学校開放による社会体育の運用面の課題や、これまでに構築された体育協会等との連携を継続する必要性について、また、農業委員会の委員等の定数や選考方法の根拠となる条例

また、一般報告として、長井海の手公園ソレイユの丘から海岸へ繋がる散策路用地の整備、浦賀警察署移転に係る跡地利用に関する課題、市制施行110周年記念式典の開催について等が報告されました。

採決の結果、委員会に付託された議案7件はすべて原案どおり可決すべきものと決定しました。



市制110周年スカリン

常任委員会の審査から

教育福祉常任委員会(分科会)

(仮称)中央こども園整備事業に関して質疑集中



質疑が集中した(仮称)中央こども園建設予定地

都市整備常任委員会(分科会)

地方創生拠点整備交付金活用事業を議論

平成28年第4回定例会

審議結果

○は賛成、×は反対

Table with columns for 議案番号, 賛否が分かれた議案, 会派 (自由民主党, 公明党, 無所属みらい, 市政同友会, 研政, 日本共産党), and 無会派 (青木哲正, 上地克明, 小室卓重, 藤野英明). Rows include items 97, 99, and 100.

* その他議案及び諮問17件については、全会一致で可決、同意または異議ない旨回答しました。詳細は市議会ホームページにも掲載してありますので、ご覧ください。
* 議長は、議事を取り仕切る立場から、採決に加わりません。

【会派所属議員名】

- 自由民主党 木下憲司 田辺昭人 青木秀介 松岡和行 大野忠之 渡辺光一 南まさみ 井口一彦
公明党 板橋 衛(議長) 鈴木真智子 土田弘之宣 石山 満 関沢敏行 本石篤志 二見英一
無所属みらい はまのまさひろ 矢島真知子 永井真人 嘉山淳平 葉山 直 小幡沙央里 山本けんじゅ
市政同友会 伊藤順一 伊東雅之 加藤眞道 西郷宗範 杉田 惺 山口道夫
研政 角井 基 伊関功滋 小林伸行 高橋英昭 長谷川昇
日本共産党 大村洋子 ねぎしかずこ 井坂 直

陳情

Table with columns 件名 and 結果. Items include safety/medical care, nursing environment, minimum wage, and private school support.

* 審査終了とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

いわゆる「ごみ屋敷」問題の解決に向けて
全国的にいわゆる「ごみ屋敷」が社会問題になっており、本市においても確認(市民通報)できているだけで16件あります。
ごみ屋敷の問題点は、ごみを強制撤去させるだけでは問題が解決しない点です。それは一時的な解決で、時間が経てばまた同じようにごみを堆積してしまう可能性が多々あります。ごみ屋敷の発生原因は様々で、認知症や精神障害なども考えられ、根本的な原因を解決するために福祉的な観点から手立てを考えていかなければなりません。
そこで、議会内に「ごみ屋敷対策検討協議会」を設置しました。協議会を設置し条例制定を目指すという手法は横須賀市議会として例がない取り組みです。市民の生活環境を守り、安心して暮らせるまちづくりのために、ごみ屋敷に対応する条例を議会提案で早期に制定してまいります。

編集後記
市議会だよりは、平成28年度より毎定例会後の年4回の発行になりました。今年度も編集委員一同、市議会に関する情報をタイムリーにわかりやすくお伝え出来るよう心掛けてまいりますので、愛読ください。

議会の政策形成機能強化に向けて
横須賀市議会は、これまで「開かれた議会」「市民に親しまれる議会」を目指し、継続して議会の制度改革及び活性化に努めてきました。平成22年には、市民の皆さまの負託に応える決意を示すための「議会基本条例」を制定し、更なる活性化に取り組んでいるところです。このたび、議員が市政に関する重要な課題についての認識の共有と合意形成を図り、議員による条例等の提案や市長等への提言を行うための新たな検討組織の設置に向けた政策検討会議等準備会を設置しました。
この準備会では、検討組織のメンバー構成や運営方法など、議会の政策形成サイクル確立のための具体的な検討を行います。

議会ICT化基本計画を策定
市議会では、平成14年に策定した「議会ICT化基本計画」を基に議会のICT化を推進してきました。しかし、策定から10年以上経過する中で技術革新や様々なシステム・サービスが登場しました。
このため、時代にあったICT技術を活用し、議会基本条例に定められた開かれた議会を一層実現するとともに、さらなる議会の活性化を図るため、この度5年間にわたる実施目標を掲げた「議会ICT化基本計画」を策定しました。
新たな基本計画では、本会議・委員会資料を電子化し議会審議を行う「ペーパーレス会議システム」を導入するほか、議会運営委員会のインターネット中継の試行、セキュリティ研修を実施します。また、SNSを活用した情報発信の拡充などを検討していきます。